

(2) 漁法などに関する言葉（参考）

聴き取り調査において採録した漁法又は漁法に関する主な言葉は次のとおりである。但し、調査上の参考事項として記録したものであり、全集落から聴き取りをしたものではない。

① 魚類一般

- ・ 「ミトジャコ取り」「ミトバエ取り」「ミトバヨ取り」
冬などに水戸下で小魚などを取る事。
- ・ 「夜川（よかわ）」 夜に明かりを持って川で魚を取る事。
- ・ 「濁りすき」 増水時に流れの弱い所に溜まった魚を取る事。
- ・ 「ビンづけ」「てんもく」「てんぶく」
エサを入れた専用のビンを川や池に入れて、魚を取る事。
- ・ 「かいどり」（池の場合は「池こね」）
水路などの水を全て抜き、魚を取る事。
- ・ 「もんどり」 竹などで作り、川や池などに仕掛けてドジョウ、ウナギなどを取る漁具

② カマツカ

- ・ 「ホレかき」 川でジョレンを用いカマツカを取る事。（但し、対象は鈴鹿川）

③ フナ

- ・ 「寒ブナ取り」 冬に水田地帯の浅井戸などでフナを取る事。

④ ウナギ

- ・ 「夜田（よた）」 夜に明かりを持って水田にウナギを取りに行く事。
- ・ 「穴釣り」 針と糸つきの棒状のものを穴に入れ込みウナギを取る事。
- ・ 「流し針」「投げ込み」（釣り針がひとつの場合は「つけぼり」「つけぼり」）
短い棒に糸を巻きつけ、ひとつ又はいくつかの釣り針にドジョウを切ったものなどをエサとしてつける。夕方に棒を岸に刺し川辺や水戸下に仕掛け、翌朝に上げてウナギを取るもの。

⑤ ヨシノボリ類・ドンコ

- ・ 「ニシャひろい」 池の水を抜いた後で、ヨシノボリ類、ドンコを取る事。

⑥ モクズガニ

- ・ 「ヤミガニ取り」 新月の夜に川にモクズガニを取りに行く事。